

早熟トマトの栽培（購入苗利用） 神奈川県農業共済組合

（自家菜園として野菜を作る時に参考にいただければ幸いです。）

1 定植時期と収穫時期

トンネル栽培 4月中旬定植 6月下旬～8月上旬収穫

（露地栽培は5月上旬に定植する。）

2 品種 大玉トマトは桃太郎 麗夏 等。 ミニトマトは ミニキャロル キャロル7 等。

3 施肥 施肥例 a当たり（100㎡当たり）

元肥 牛糞堆肥150kg CDU複合燐加安S555 6.7kg 石灰窒素3kg 粒状過石5kg 顆粒タイニー6kg（成分量 チッソ1.9kg、リンサン3.9kg、カリ3.0kg）

定植7日前に施用し耕うんする。

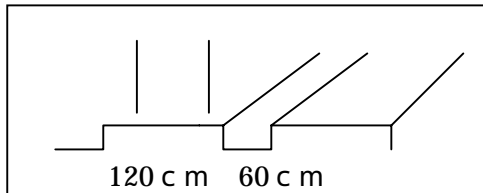
4 定植

植え方の例 畦幅 120cm 通路幅60cm 条間60cm 2条植え 株間50cm

畦の高さは15～20cm程度 135㎝幅、黒マルチを被覆 10畝、2,222株

180㎝幅のビニール等を被覆。

（穴あきビニールを被覆すれば、換気作業が楽になる。）



定植は第1花房の1～2花が開花した頃。花房を通路側に向けて植える。（若苗を植えると草勢が旺盛になる。）

5 トンネル内温度管理

日中はトンネル内が24～25℃になるように喚起する。

6 管理

5月中旬頃ビニールを除去。支柱は直立に立てる。わき芽は早めに除去する。

着果促進 ホルモン処理はトマトラン液剤、トマトーンを使用（濃度、処理方法は製品のラベルを見る。）トマトは自家受粉で、5月中旬以降になれば自然状態でも着果する。

摘芯は7～8段で行なう。（最終花房の上の葉2枚残して摘芯）

大玉トマトの摘果は1段果房4～5個とする。

7 追肥（生育状況を見て決める。）

施肥例 5月下旬、6月下旬に、それぞれa当たり（100㎡当たり）NK化成2号 3.6kg（a当たり成分量 チッソ1.1kg カリ1.1kg）

8 病虫害防除

えき病、アブラムシ等が発生しやすいので適宜、薬剤散布をする。

9 その他

購入苗は1段花房の第1花が開花し、徒長していない苗が良い。

参考文献 神奈川県野菜優良種導入指針 県環境保全型農業栽培の手引 神奈川の野菜